

第 46 回 定例理事会

議 事 録 (正)

平成 31 年 4 月 23 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第46回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：平成31年4月23日 (火) 14:00～16:35

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、
西奈美博副会長 (事業担当)、
荻野均副会長 (財務担当)、
中川堅司専務理事 (事務局統括、国内渉外担当)、
青野時彦 (総務担当)、小川幹雄 (国際渉外担当)、
河瀬靖憲、西村岩夫、長谷川祥久、鈴木伸一、伊東正示
欠席理事：崎山征雄 (コンプライアンス担当)
出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一
欠席顧問：高田一郎
事務局：中川堅司 (事務局長)

有効理事総数 12名、出席理事 11名、欠席理事 1名
出席率 92% 監事2名、事務局 (1名)、計13名

議事録署名人 (書記) 伊東正示

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12名中、11名の出席、監事2名、事務局 (1名) にて本理事
会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|---------------|
| 1) 業務報告 | 森健輔会長 |
| 2) 事業報告 | 西奈美博副会長 |
| 3) 財務報告 | 荻野均副会長 |
| 4) 総務報告 | 青野時彦理事 |
| 5) 国際協力報告 | 小川幹雄理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 中川堅司専務理事 (代理) |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川堅司専務理事 |
| 8) 事務局報告 | 中川堅司専務理事 |
| 9) その他 | |

資料-1

4. 審議事項

第 1 号議案	平成 3 0 年度事業報告承認の件	資料-2
第 2 号議案	平成 3 0 年度収支決算報告承認の件	資料-3
第 3 号議案	令和元年度(2019 年度)通常総会議事次第承認の件	資料-4
第 4 号議案	JATET 出版物頒布価格設定基準 (案) の件	資料-5
第 5 号議案	劇場演出空間用照明器具・機材標識表示基準 (案) の件	資料-6
第 6 号議案	正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 浅野 安通氏 機構部会 入部の件	資料-7
第 7 号議案	正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 渡邊 明彦氏 教育研修部会 退部の件	資料-8
第 8 号議案	正会員 C 舟本 幸人氏 退会の件	資料-9
第 9 号議案	賛助会員 B 岩村 原太氏 退会の件	資料-10
第 10 号議案	札幌文化芸術劇場 見学会の件	資料なし
第 11 号議案	「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者推薦の件	資料-11
第 12 号議案	「世界劇場会議名古屋フォーラム 2019」後援名義使用許可の件	資料-12
第 13 号議案	「Inter BEE 2019」協力名義の使用許可の件	資料-13
第 14 号議案	ABTT 翻訳依頼費用の件	資料-14

その他

- 1) 第 47 回定例理事会開催日程 (8 月) について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が伊東正示氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 45 回定例理事会以降の業務報告がされた。

平成 31 年 3 月 15 日（金）14:00～ 第 34 回事業執行連絡委員会

平成 31 年 4 月 12 日（金）14:00～ 第 35 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

西奈美博副会長（資料-1）

各部会の平成 30 年度事業報告については、審議事項で詳細を報告する。

詳細については、資料 1 及び閲覧資料を参照のこと。

教育研修部会では、2 月 13 日、3 月 19 日、4 月 15 日に部会を開催した。

- ・ JATET ジャーナル Vol. 16 久留米シティプラザは、3 月末に発行し、HP で公開した。
- ・ JATET ジャーナルによる施設紹介として、観音寺市民会館、阿久根市民交流センター、越後妻有文化ホール・十日町中央公民館「段十ろう」等の特集を予定している。
- ・ 今年度の見学会は、堺市芸術文化ホール、札幌文化芸術劇場、日本青年館、高崎芸術劇場を予定している。
- ・ 札幌文化芸術劇場については、7 月 9 日に見学会を開催する予定であり、後ほど審議をお願いする。

建築部会では、前回の理事会以降に部会を開催していない。

- ・ JATET 技術展 2019 のセミナーテーマである「客席空間のり・デザイン」について、具体的な内容と講師を検討中である。

機構部会では、4 月 17 日に部会を開催した。

- ・ 「引綱ロープの引っ張り強度試験結果及び廃棄基準」を HP に公開した。
- ・ 安全手帳の機構分野について、現在取りまとめの検討を行っている。
- ・ JATET 技術展 2019 の部会テーマ「操作卓について」の具体的な内容を検討するため、研究会を開催して意見交換を行っている。

照明部会では、前回の理事会以降に部会を開催していないため、報告事項は特になし。

- ・ JATET 技術展 2019 の部会テーマは「(仮)劇場・ホールへの持ち込み機材、機器の現状と今後の対応」としているが、内容については今までと違った形で行うことを考えており、現在具体的な内容を検討している。

音響部会では、2 月 15 日に部会を開催した。

- ・ 舞台連絡設備指針の改訂見直しについて、施設での運用実態調査のためのアンケート内容の検討を進めている。
- ・ 安全手帳については、現在最終の内容を取りまとめ中。部会で承認後に HP で公開予定。
- ・ JATET 技術展 2019 のセミナーテーマを「イマーシブルサウンドの音響システムについて」としたが、「イマーシブ」を体感できるように、現場に機材を仕込むことが可能

か、実現性を確認することを検討している。

映像部会では、3月13日に部会を開催した。

- ・ JATET 技術展 2019 のセミナーテーマは「劇場間ネットワークとクラウドによる運営・制作・発信の可能性」としている。
- ・ JATET 技術展について、新国立劇場での開催について、部会員の倉石氏と協議の上、内容を検討し、演出プロデューサーの講演も交えた展開も視野に入れて検討している。

広報部会では

- ・ 2月に開催した JATET フォーラム 2018/19 でアンケートを実施し、結果をまとめた。
- ・ 回答数は47で回収率は30.9%と低かったが、回答者の28.3%が非会員であった。
- ・ 劇場管理運営、建築設計関係者などが多く、JATET ニュースなどのお知らせから情報を入手した方が半数以上。
- ・ 参加のきっかけについて「内容に興味があった」が75%以上。満足度は「非常に満足」と「満足」を合わせると、83.3%。
- ・ セミナーのテーマについても様々な意見をいただいた。次回以降に活かしていきたい。
- ・ JATET 技術展 2019 ではホワイエ展示について検討している。

イ. JATET 技術展 2019 について

資料-1、閲覧-事業報告資料

- ・ 平成31年3月4日(月)14:00～ 第7回 JATET 技術展 2019 実行委員会を開催した。
- ・ 経済産業省と文化庁の後援名義使用の許可がそれぞれ3月5日付けと3月28日付けで下りた。
- ・ 文化庁からは、地方自治体の後援使用承認後に文化庁に申請するのが通例であるから、次回からはそれに沿った申請が必要だという指導を受けた。
- ・ セミナー、懇親会の申込受付は、5月中旬より開始予定。
- ・ 展示部門は、4月1日から予備小間の募集を開始し、申込期限は4月26日まで。
- ・ 現在、展示出展申込みは22社。標準小間が21小間、小型が3小間。
- ・ 引き続き、理事の皆様には関連会社等でまだ申込をされていないところにぜひ声かけをお願いいたします。
- ・ 第8回 JATET 技術展 2019 実行委員会は平成31年4月25日(木)14:00から開催予定。

今後の予定として

- 4月26日・・・予備小間募集締切
- 5月中旬・・・技術展セミナー受付開始
- 5月16日・・・出展者説明会・小間割り抽選会
- 8月・・・出展者全体会議
- 8月29日・・・小間搬入及び技術展仕込み作業
- 8月30日～31日・・・JATET 劇場演出空間技術展 2019 (セミナー及び展示)
- 8月30日・・・技術展懇親会
- 9月・・・技術展報告会議

⇒予備小間の募集は5月16日まで伸ばす予定。(事務局長)

ロ. JATET 誌について

- ・ JATET 誌 85号は、JATET 劇場演出空間技術展 2019 を特集とし、出展企業からの広告、技術書が中心となる。
- ・ 5月16日の展示部門出展説明会で、各社あてに執筆依頼を出す予定。
- ・ また、部会長にも6月頃に執筆依頼を出す予定。

- 3) 財務報告 荻野均副会長（閲覧資料-財務報告）
- ・ 4月1日に尾澤会計事務所と決算を行った。後ほど、平成30年度の事業報告書と決算書の審議をお願いする。
 - ・ 4月11日に尾澤監事、間瀬監事の監査を受けた。
 - ・ 毎月、青野理事と総勘定帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており、問題はない。
 - ・ 2018年度の会費は、賛助会員Bの2名が未納となっており、内1名は前年度で退会している。もう1名に対しては、平成31年度の会費を請求する際に、2年分の請求を発行する予定。
 - ・ JATET 技術展 2019 出展小間請求書は、申込時に随時発行しており、5月31日までの支払期限となっている。
- 4) 総務報告 青野時彦理事
- ・ JATET 事務局長の契約更改について、引き続き中川堅司専務理事と事務局長の契約を更改した。
 - ・ 4月1日より永田みのり事務局員が新職員として勤務している。
- 5) 国際協力報告 小川幹雄理事（閲覧資料・国際協力報告）
- ・ OISTAT 日本センターは本部に500ユーロの年会費を納入した。
 - ・ OISTAT 日本センターの主催で4月3日に日比谷図書文化館にてトークの集いを開催し、約30名が参加した。その際に、日本舞台美術家協会の60周年記念展覧会の報告も行われた。
 - ・ 6月6日から16日まで、プラハでPQ2019が開催される。同時開催されるOISTATの各委員会には、日本センターのメンバーはできる限り参加するようにしたい。
 - ・ 広報委員会では『デジタル・シアター・ワーズ』の状況を確認するとともに、紙ベースの『シアター・ワーズ』の希望者も多いことから、再販の可能性も確かめたい。
- 6) コンプライアンス報告 代理：中川堅司専務理事
 崎山理事欠席につき中川専務理事より期間中コンプライアンス上問題となる事項はないとの報告があった。
- 7) 規程改訂作業部会報告 中川堅司専務理事
- ・ 現在改定が残っている「JATET 出版物頒布価格設定基準(案)」と「劇場演出空間用照明器具・機材標識表示基準(案)」の2つについて、後ほど審議していただきたい。
- 8) 事務局報告 中川堅司専務理事
- イ. 内閣府情報 閲覧資料-内閣府情報
- 内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。
- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第66号（平成31年3月6日発行）を閲覧
 - ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第67号（平成31年3月20日発行）を閲覧
 - ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第68号（平成31年4月3日発行）を閲覧
 - ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第69号（平成31年4月17日発行）を閲覧
- ロ. 経済産業省情報&総務省等 中川堅司専務理事
 閲覧資料-経済産業省&総務省等
- 経済産業省コンテンツ産業課より、以下の周知、協力依頼が届いている。
- ・ 「働き方改革関連法の施行に向けた取引上の配慮について」の周知依頼
 - ・ 「自殺対策強化月間における取組の要請」

- ・ 「改元に伴う元号による年表示の取扱い及び情報システム改修等への対応」についての周知と協力依頼
- ・ 「2020年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請について」の周知依頼

総務省より

- ・ 「経済センサスー基礎調査の実施」についてのお知らせが届いた。

経済産業省・総務省共通で、

- ・ 「経済構造実態調査の事前周知について」の通達あり

ハ. JATET ニュース発行について

- ・ JATET ニュース第 205 号 (平成 31 年 2 月 27 日配信)
- ・ JATET ニュース第 206 号 (平成 31 年 3 月 29 日配信)

ニ. 会員情報

中川堅司専務理事
閲覧資料-会員情報

- ・ 正会員 A 三精テクノロジーズ (株) 浅野安通氏 機構部会入部 (審議事項)
- ・ 正会員 A カヤバシステムマシナリー (株) 渡邊明彦氏 教育研修部会退部 (審議事項)
- ・ 正会員 A 三菱重工機械システム (株) 登録内容変更
- ・ 正会員 C 舟本幸人氏 退会 (審議事項)
- ・ 賛助会員 B 岩村原太氏 退会 (審議事項)

審議事項については、後ほど審議をお願いします。

ホ. 諸団体情報

中川堅司専務理事
閲覧資料-諸団体情報

- ・ 「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者の公募依頼を受領。 (審議事項)
- ・ 「世界劇場会議名古屋フォーラム 2019」後援名義使用許可依頼を受領。 (審議事項)
- ・ 「Inter BEE 2019」協力名義使用許可依頼を受領。 (審議事項)
- ・ 「文化芸術省」の創設を政府に提言についてのお知らせを受領。
- ・ 平成 31 年度 公益社団法人全国公立文化施設協会 定時総会・研究会 (大阪・豊中大会) の概要を受領。
- ・ 「Technical Theatre Training Program 2019 舞台技術講座 40th」の案内を受領。
- ・ 「世界劇場会議国際フォーラム 2019 in 可児」の事業報告書と決算書を受領。

ヘ. 書籍販売状況

中川堅司専務理事
閲覧資料-書籍販売状況

JATET 規格等の資料販売は「吊物機構安全指針・同解説」など、平成 30 年 4 月以降で 5 冊売れており、27,000 円の売り上げとなっている。

ト. 請求書情報

中川堅司専務理事
閲覧資料-請求書情報

JATET 誌 8 4 号の配送費、JATET フォーラム 2018/19 のセミナー記録 DVD 代などの支出があった、その他は通常の支出。

チ. HP について

中川堅司専務理事
閲覧資料-ホームページ解析資料

- ・ JATET ホームページのアクセス解析状況の資料を閲覧した。2月のアクセス回数は4,580回、3月は3,760回。
- ・ JATET ニュースの配信後にアクセス数が増える傾向がある。

リ. 事務局関連

中川堅司専務理事
閲覧資料-事務局関連

- ・ 尾澤会計事務所、かんの社会保険労務士事務所と業務委託契約書を取り交わした。
- ・ 2019年度「事業計画書」「事業予算書」は2月の理事会で承認され、3月25日に内閣府へ申請した。
- ・ 各部会・事務局への問い合わせには、適宜回答している。
- ・ 日本年金機構から10連休に関連するお知らせを受領した。
- ・ 事務所の管理会社からエアコンの清掃に関するお知らせを受領。5月12日に実施予定。
- ・ 神田税務署の移転案内を受領。

報告事項は以上で終了。

4. 審議事項

第1号議案 平成30年度事業報告承認の件

資料-2

平成30年度の事業計画に基づき実施した事業について、中川事務局長から資料-2を使って説明があった。

事業項目は下記の通り。

1. 会議（総会、理事会、委員会）
2. JATET 部会報告（教育研修、建築、機構、照明、音響、映像、広報）
3. JATET フォーラム 2018/19
4. JATET 誌
5. JATET ニュース

中川専務理事の説明の後、平成30年度事業報告承認の審議に入り、全員一致で可決承認された。

第2号議案 平成30年度収支決算報告承認の件

資料-3

平成30年度収支決算について、中川事務局長から資料-3を使って説明があった。

主な点は、下記の通り。

- ・ 会費収入は16,040,000円
- ・ 事業収益は10,079,260円、経常収益は、雑収益を加えて26,424,892円。
- ・ 事業費は北海道のフォーラムが地震のために中止となり、規模を縮小して座・高円寺でフォーラムを開催したこと、2019年度の技術展開催に係る経費、収益事業としてのJATET誌発行費などで、合計は17,132,475円となった。
- ・ 管理費は6,843,480円で、経常費用の合計は23,975,955円となり、最終的に250万円弱の黒字となった。
- ・ 北海道のフォーラムが中止になったため、公益目的事業費率の50%確保が難しくなり、特定費用準備金として250万円を積み立てることとし、最終的な正味財産期末残高は13,536,835円となった。

中川専務理事の説明の後、平成30年度収支決算報告承認の審議に入り、全員一致で可決承認された。

第3号議案 令和元年度(2019年度)通常総会議事次第承認の件

資料-4

中川事務局長から資料-4に基づいて、令和元年度(2019年度)通常総会議事次第の説明があった。

審議事項は下記の通り、

第1号議案 平成30年度事業報告承認の件

第2号議案 平成30年度収支決算報告承認の件

報告事項は下記の通り、

第1号報告 令和元年度(2019年度)事業計画の報告の件

第2号報告 令和元年度(2019年度)収支予算の報告の件

中川専務理事の説明の後、令和元年度(2019年度)通常総会議事次第承認について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第4号議案 JATET 出版物頒布価格設定基準(案)の件

資料-5

中川事務局長から資料-5に基づいて、JATET 出版物頒布価格設定基準を見直し、改定する案の説明があった。

主な内容は下記の通り、

- ・ 古い規格・指針などは随時HPなどで公開しているため、設定価格は据え置く。
- ・ カラー刷り等の特殊な原稿を含む場合は、業者から見積もりを取り、印刷単価実費の2倍以上を一般頒布価格とする。
- ・ 内容によっては、特別の頒布価格を設定する。
- ・ 会員価格は一般頒布価格の3割引きとする

中川専務理事の説明の後、JATET 出版物頒布価格設定基準(案)について審議に入り、全員一致で可決承認された。

第5号議案 劇場演出空間用照明器具・機材標識表示基準(案)の件

資料-6

中川事務局長から資料-6に基づいて、劇場演出空間用照明器具・機材標識表示基準(案)の説明があった。

主な内容は下記の通り、

- ・ 劇場演出空間用照明器具・機材標識表示基準は、本会会員が取り扱う劇場演出空間用照明器具に表示する標識、いわゆるJATETマークについて、その表示基準を定めたものである。
- ・ 有効期間を5年とし、登録料を支払ってもらっていたが、5年の期間を経た後は無償となっており、今回の改正では登録料の条項は削除している。
- ・ 別紙1では、マークの基準寸法比率を示している。
- ・ 基準の改定が認められたなら、現状のマーク登録業者を確認の上、改めて登録申請を提出していただき、使用許可証を発行したい。

委員からの主な質疑と回答は下記の通り。

- 1) 海外製品の照明器具の場合にはどうなるのか。
⇒基本的に会員のみとしている。
- 2) 公益社団法人なので、加盟団体のみが使用できるというのはまずいのではないか。
- 3) 条件に適合していれば、マークを貼っても良いのか。誰が審査をするのか。
⇒そこが問題であり、責任問題が発生する。平成7年度よりルール化しているが、誰もチェックしていない。
- 4) 照明部会長からは、「このマークは安全を担保するものではない」という意見が出されている。

⇒性能を担保するものなら、条文に「安全」に関する記述が多いのはおかしい。

5) 事務局には使用を許可するという記録はあるが、詳細については把握していない。ひとつひとつの機材を持ち込まれても、今の体制では対応できない。

6) リスク回避のために、きちんと安全を担保するものではないことを記載すべき。これまでは事故はなかったが、今後は起こる可能性もある。

議長より、照明部会で検討してもらいたいという提案がなされ、全員一致で議長提案が可決承認された。

第 6 号議案 正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 浅野安通氏

機構部会 入部の件

資料-7

平成 31 年 4 月 5 日付で機構部会への参加申込書が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 A 三精テクノロジーズ株式会社 浅野安通氏の入部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案 正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 渡邊明彦氏

教育研修部会 退部の件

資料-8

平成 31 年 3 月 19 日付で教育研修部会の退部届が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 A カヤバシステムマシナリー株式会社 渡邊明彦氏退部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 8 号議案 正会員 C 舟本幸人氏 退会の件

資料-9

平成 31 年 3 月 31 日付の退会届が提出された。

中川専務理事の説明の後、正会員 C 舟本幸人氏退会についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 9 号議案 賛助会員 B 岩村原太氏 退会の件

資料-10

平成 31 年 3 月 31 日付の退会届が提出された。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 岩村原太氏退会についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 札幌文化芸術劇場 見学会の件

資料なし

中川専務理事より昨年 9 月に開催予定だったが、地震の影響で中止になった札幌文化芸術劇場の見学会を令和元年 7 月 9 日に開催したいという説明の後、審議に入り全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 「ニッセイ・バックステージ賞」表彰候補者推薦の件

資料-11

中川専務理事の説明の後、審議に入り、今年度は「推薦者なし」と回答することが全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 「世界劇場会議名古屋フォーラム 2019」後援名義使用許可の件

資料-12

中川専務理事の説明の後、審議に入り、後援名義の使用を許可することが全員一致で可決承認された。

第 13 号議案 「Inter BEE 2019」協力名義の使用許可の件

資料-13

中川専務理事の説明の後、審議に入り、協力名義の使用を許可することが全員一致で可決承認された。

第 14 号議案 ABTT 翻訳依頼費用の件

資料-14

中川専務理事の説明の後、審議に入り、下記の意見が出された。

- ・ 株式会社ラムサからの御見積書は翻訳作業費が 67 万円に対して、37 万円の値引きをする内容となっている。このような多額の値引きを協会が認めるべきではない。
- ・ きちんと事業計画に取り込んで、正当な報酬を払うべきである。
- ・ ABTT を含むイギリスの複数の団体の著作物であり、翻訳物を販売することは権利関係からむずかしい。
- ・ 無料で配布するが、この資料をテキストにする有料の勉強会を開催することは可能か。
- ・ 翻訳を有料で委託することは問題ないのか。
- ・ 会員の法人に委託することは利益相反の懸念はないのか。

議長より、本議案は「翻訳に対する費用を支払うことについての賛否を問う」案件であり、翻訳に対する費用を支払うことについての採決を行い、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第 47 回定例理事会（8 月）の開催日程について

- ・ 通常であれば、次回は 8 月の開催であるが、今年度は JATET 技術展 2019 が 8 月 30、31 日に開催されるため、9 月初旬の開催としたい。
- ・ 第 47 回定例理事会は令和元年 9 月 4 日（水）14 時からとする。





2) 閉会

16 時 35 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

平成 31 年 4 月 23 日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第 46 回定例理事会

役職	署名	捺印
議長 (代表理事 森健輔)	森 健輔	
監事 (尾澤輝行)	尾澤輝行	
監事 (間瀬勝一)	間瀬勝一	
議事録作成署名人 (伊東正示)	伊東正示	

第 47 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 1 年 9 月 4 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第47回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：令和1年9月4日 (水) 14:00～15:15

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、
西奈美博副会長 (事業担当)、
中川堅司専務理事 (事務局統括、国内渉外担当)、
青野時彦 (総務担当)、小川幹雄 (国際渉外担当)、
崎山征雄 (コンプライアンス担当)
河瀬靖憲、西村岩夫、長谷川祥久、鈴木伸一、伊東正示

欠席理事：荻野均副会長 (財務担当)、

出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司 (事務局長)

有効理事総数 12名、出席理事 11名、欠席理事 1名

出席率 92% 監事2名、事務局 (1名)、計13名

議事録署名人 (書記) 小川幹雄

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12名中、11名の出席、監事2名、事務局 (1名) にて本理事
会は定足数の過半数を確保し、成立した。

議事次第

1. 議長選出
2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1) 業務報告 | 森健輔会長 |
| 2) 事業報告 | 西奈美博副会長 |
| 3) 財務報告 | 荻野均副会長 (代理-中川専務理事) |
| 4) 総務報告 | 青野時彦理事 |
| 5) 国際協力報告 | 小川幹雄理事 |
| 6) コンプライアンス報告 | 崎山征雄理事 |
| 7) 規程改訂作業部会報告 | 中川堅司専務理事 |
| 8) 事務局報告 | 中川堅司専務理事 |
| 9) その他 | |

資料-1

4. 審議事項

第 1 号議案	イグス株式会社 正会員 A 入会の件	資料-2
第 2 号議案	株式会社シミズオクト 正会員 A 入会の件	資料-3
第 3 号議案	3M マネジメント合同会社 澤村 厚志氏 賛助会員 B 入会の件	資料-4
第 4 号議案	賛助特別 (公財) せたがや文化財団 福田 純平氏 機構部会入部の件	資料-5
第 5 号議案	レジャージャパン 2019 への後援名義使用承認の件	資料-6
第 6 号議案	LED NEXTSTAGE2020 協賛名義使用承認の件	資料-7
第 7 号議案	JATET フォーラム 2020 について	資料-なし
第 8 号議案	JATET 誌 86 号の編集方針について	資料-8

5. その他

- 1) 第 48 回定例理事会開催日程 (11 月) について、第 49 回定例理事会開催日程 (2 月) について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が小川幹雄氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 46 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 1 年 5 月 10 日（金） 14:00～	第 36 回事業執行連絡委員会
令和 1 年 6 月 11 日（金） 14:00～	第 37 回事業執行連絡委員会
令和 1 年 7 月 11 日（木） 14:00～	第 38 回事業執行連絡委員会
令和 1 年 8 月 7 日（水） 14:00～	第 39 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

西奈美博副会長（資料-1）

各部会の活動報告について、事業報告資料 1、各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、

- ・ 「札幌文化芸術劇場(hitaru)見学会」を 7 月 9 日（火）に開催し、150 名弱の参加があった。
- ・ 9 月 13 日（金）には、「堺市芸術文化ホール（フェニーチェ堺）見学会」の予定。
- ・ 11 月 19 日には、日本青年館での開催を予定。

建築部会では、

- ・ 5 月 24 日、6 月 10 日にワーキング会議を開催した。

機構部会では、

- ・ ワイヤロープの劣化診断について、今月以降進める予定。
- ・ 懸垂物安全指針について、日本建築センターに問合せた結果、更新の予定はないとの報告を受けた。
- ・ フルハーネス安全帯については、各委員において安全帯をかける場所の強度規定等の資料を集めて協議する。
- ・ 鳥取県文化振興財団より、舞台機構設備、舞台照明設備、舞台音響設備などの耐用年数を示した資料の有無の問合せがあり、機構部会としては「JATET では舞台機構設備の明確な資料はなく、使用頻度に大きく影響されるので、保守点検の中で摩耗・劣化具合を見ながら更新いただくことが良い」と返答した。
- ・ 部会長交替の立候補を受け付け中であり、11 月の部会から交替する予定である。
- ・ 公文協より建築構造物である鉄骨天井梁にセットを吊り上げる仕込みの際に①天井梁に直接重量物を吊下げることの建築構造への影響、②吊下げワイヤーがスノコに設置されている他の構造物への干渉対策方法の問合せがあった。
 - ① 項については舞台機構としては判断しかねるので、構造を担当した設計事務所にお尋ねください、
 - ② 項については干渉する場合は使用しないでください等の返答を事務局で行った。
- ・ ハーネス安全帯については、今後継続して協議予定。
- ・ 安全手帳については、素案ができたので現在確認中。
- ・ 今後の協議として、ライトブリッジの安全帯について進める予定。

照明部会では、

- ・ JATETマークについて、基本的に専門家が扱うことで安全が担保されることであり、器具そのものの安全を担保したものではない。現状使用している状態のため、今後問題があればメーカー間で協議していく。
- ・ 演出空間用 LED 照明器具の表示規格について、カタログ等で統一されていない用語の定義について検討中。
- ・ IEC と JIS の関連報告として照明器具の見直しについて、JIS C8105-17 が発表され、現在内容を調査中。
- ・ JATET 規格「JATET-L-7190」の改定は、今後研究会で取り組んでいく。

音響部会では、

- ・ 舞台連絡設備指針の改訂見直しについて、施設での運用実態調査のため「インターカム設備、「映像モニタ (CCTV) 設備」のアンケートを紙ベース及び WEB ベースで実施した。「インターカム設備」は、100 以上の回答があり、まとめ中。
- ・ 音響部会安全手帳については、JATET ホームページに掲載中。

映像部会では、

報告なし。

前回の理事会より大きな動きはない。

広報部会では

- ・ 7 月 9 日に開催した「札幌文化芸術劇場 (hitaru) 見学会」で来場者アンケートを実施した。現地での回収が困難と予想されたため WEB にて回収したが、参加者は 136 名に対して回答が 11 名 (8.1%) という残念な結果になった。
- ・ JATET 技術展では、JATET の活動を広く知って頂き会員を増やすことを目的とし、名簿掲示を実施した。

イ. JATET 技術展 2019 について

資料-1、閲覧-事業報告資料

- ・ 平成 31 年 4 月 25 日 (木) 14:00～ 第 8 回 JATET 技術展 2019 実行委員会
- ・ 令和 1 年 5 月 16 日 (月) 14:00～ JATET 技術展 2019 出展者小間割抽選会及び全体説明会
- ・ 令和 1 年 6 月 27 日 (木) 14:00～ 第 9 回 JATET 技術展 2019 実行委員会
- ・ 令和 1 年 7 月 31 日 (水) 14:00～ 第 10 回 JATET 技術展 2019 実行委員会
- ・ 令和 1 年 8 月 5 日 (月) 14:00～ JATET 技術展 2019 出展者最終説明会
- ・ 令和 1 年 8 月 26 日 (月) 14:00～ 第 11 回 JATET 技術展 2019 実行委員会

- ・ 令和 1 年 9 月 19 日 (木) 14:00～ JATET 技術展 2019 報告会を開催予定

- ・ 令和 1 年 8 月 30, 31 日の二日間開催で展示会のみでの来場者数は約 200 名
セミナーは 1 日券の 30 日が 95 名、31 日が 45 名、2 日券が 109 名で合計 249 名
- ・ 懇親会は招待者参加者が約 40 名で、申込参加者が約 60 名、合計 100 名の参加

ロ. JATET 誌について

- ・ JATET 誌 85 号は、技術展特集で印刷数 3, 500 部を、関係各所へ今週中に配布依頼予定
JATET 誌 86 号は、持ち廻りで映像部会が担当 (審議事項)

ハ. JATET フォーラム 2020 について (審議事項)

- 3) 財務報告 担当の荻野均副会長が欠席のため中川専務理事より報告
 閲覧-財務報告資料
- ・ 毎月、荻野副会長、青野理事の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしており、問題はない。
 - ・ 2019年度の会費は、7月31日納入期限だったが、未納者には、理事会後に再請求書を発行する予定。
 8月末時点で、正会員A1社、正会員C5名、賛助会員A1社、賛助会員B6名が未納
- 4) 総務報告 青野時彦理事
 閲覧-事務局関連及び請求書等資料
- ・ 事務局事務所賃料について、10月からの消費税10%増税により、10月分(9月末支払い分)より8%から10%での支払いとなる。
 - ・ 東京都の時給最低賃金について、厚生労働省より10月以降985円から1013円に引き上げることが発表されたので引き上げ額に合わせ賃金を上げる予定
- 5) 国際協力報告 小川幹雄理事
- ・ 8月10日～11日に掛けて開催された北京でのPalm Expo中の11日に「アジア・エンターテインメント・安全協議会」が予定され招聘が来ていたが、費用負担等、北京側の対応に不安があり、前回、台湾及びシンガポールが参加せず、アジア5機関として現時点で纏まりがないなどを考慮して、今回は参加を見送り様子を見た。
 後ほど、韓国より報告が届き、中国、韓国、台湾の3機関の出席で、協議会の名称を「Asia Entertainment Safety Alliance, AESA」に決定したとのこと。
 今後の予定では安全協議の草案として「専門用語—舞台機構と吊りもの」を、9月中に韓国より韓国語と英文の草案を他の4機関に送り、10月中に各機関が自国語と英語で追加返答し、11月に韓国でまとめるとの提案があった。ほかに草案をオープンにするかクローズにするかについては、報道機関にオープンにし、各機関のWebサイトにも掲載する方針を決定したとのこと。また新しいメンバーの加入は既機関全会一致で認められることを条件とする。2020年の会議を日本か韓国で開催したいが、時期については韓国開催ならば9月とするとのこと。以上の報告があった。
 - ・ OISTAT日本センターでは、6月にプラハで開催されたPQと各委員会、また続けてベルリンで開催されたメッセ・ベルリンでの展示会と各種委員会の報告をニュースにまとめているところ。
 10月2日には日比谷図書文化館にて今年度の総会とトークの集いを開催する予定。
- 6) コンプライアンス報告 崎山征雄理事
 期間中コンプライアンス上問題となる事項はないとの報告があった。
- 7) 規程改訂作業部会報告 中川堅司専務理事
- ・ 現在改訂が残っている規程としては、劇場演出空間用照明器具・機材標識表示基準、いわゆるJATETマークの取り扱いに関する基準が残っている。4月の理事会で審議の結果、皆様から色々と質疑を出していただき、修正案を照明部会にて検討しているところ。
 また、部会委員登録手続きの方法についても、来年度は役員改選があるので、今年度中に取りまとめるよう検討を進めている。
- 8) 事務局報告 中川堅司専務理事
- イ. 内閣府情報 閲覧資料-内閣府情報

内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第70号（令和1年5月8日発行）を閲覧
- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第71号（令和1年5月22日発行）を閲覧
- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第72号（令和1年6月5日発行）を閲覧
- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第73号（令和1年6月19日発行）を閲覧
- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第74号（令和1年7月3日発行）を閲覧
- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第75号（令和1年7月18日発行）を閲覧
- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第76号（令和1年8月2日発行）を閲覧
- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第77号（令和1年8月14日発行）を閲覧
- ・ 内閣府 公益法人メールマガジン第78号（令和1年8月28日発行）を閲覧

内閣府大臣官房公益法人行政担当室長から、公益社団法人および公益財団法人における消費税転嫁対策特例法の遵守について書面が届いている。

経済産業大臣からの書面「消費税率の引上げに伴う消費税の円滑かつ適正な転嫁について」、消費者庁の「消費税率の引上げに伴う価格設定について（ガイドライン）」等の周知・広報へのご協力をお願い書面の遵守が求められている。

ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川堅司専務理事
閲覧資料-経済産業省&総務省

経済産業省コンテンツ産業課より

- ・ 「令和元年科学技術研究調査」の案内が届き、調査票を提出した。

総務省より
特になし

ハ. JATET ニュース発行について

中川堅司専務理事
資料なし

- ・ JATET ニュース第207号（令和1年5月13日配信）
- ・ JATET ニュース第208号（令和1年6月4日配信）
- ・ JATET ニュース第209号（令和1年7月4日配信）
- ・ JATET ニュース第210号（令和1年8月8日配信）
- ・ JATET ニュース第211号（令和1年8月27日配信）

ニ. 会員情報

中川堅司専務理事
閲覧資料-会員情報

- ・ 正会員 A ウシオライティング（株） 会員登録内容変更届
- ・ 正会員 C 間瀬監事（間瀬勝一氏）、伊藤久幸氏、為ヶ谷秀一氏 会員登録内容変更届
- ・ 賛助会員 A カヤバシステムマシナリー（株）は、舞台装置に関する事業について、7月1日から KYB ステージエンジニアリング（株）に分割継承され、会員登録内容変更届が届いた。
- ・ 賛助会員 B 藤田 怜氏 登録情報変更
- ・ 賛助特別（公財）せたがや文化財団 福田純平氏 機構部会参加申込（審議事項）

その他、ヒビノアークス株式会社、株式会社エス・シー・アライアンス、東芝ライテック株式会社、三精テクノロジーズ株式会社、カヤバシステムマシナリー株式会社の役員就任挨拶状が届いているので閲覧する。

ホ. 諸団体情報

中川堅司専務理事
閲覧資料-諸団体情報

- ・ 全国公立文化施設協会の2019年度研究大会（大阪・豊中大会）の開催案内が届いた。
- ・ 東京舞台照明ホールディングスの新社屋落成並びに法人設立60周年記念祝賀会の案内が届いた。
- ・ 日本舞台美術家協会から「JATDT60周年 日本舞台美術家協会展」後援のお礼が届いた。
- ・ 「レジャージャパン2019への後援名義承認依頼が届いた（審議事項）」
- ・ LED NEXTSTAGE2020 協賛名義使用承認依頼が届いた（審議事項）

芸団協メールニュース：4/26臨時号、5/7(391)～8/15(398),
全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：5/15(93号)～8/15(96号)

その他、公益法人協会、日本舞台音響家協会、日本照明工業会、電気設備学会、日本照明家協会などの機関誌、埼玉アーツ通信、としまアート夏祭りなどの案内が来ているので閲覧する。

へ. 書籍販売状況

中川堅司専務理事
閲覧資料-書籍販売状況

規格販売状況（別紙資料参照）

- ・ 今年度は8月末時点までで、138,000円の販売実績となっている。吊物機構安全指針、同解説が8冊、床機構安全指針・同解説が5冊、音響設備動作特性測定規格が4冊、プロオーディオ音響技術CDが8枚売れている。

ト. 請求書情報

中川堅司専務理事
閲覧資料-請求書情報

みずほ銀行残高証明書発行手数料、厚生労働省保険料、新国立劇場運営財団、JATET誌85号の制作、印刷、基準協会費、エッサム貸ホール、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、ゼロックス、アスクル、古川商事などの請求書関連を閲覧する。

チ. HPについて

中川堅司専務理事
閲覧資料-HPアクセス解析

- ・ 「フェニーチェ堺見学会」申込受付中
- ・ JATET ホームページのアクセス解析・・・5月～7月までのHP閲覧状況を資料に示し閲覧する。
- ・ JATET ニュース発行後に閲覧が増える傾向がある。

リ. 事務局関連

中川堅司専務理事
閲覧資料-事務局関連

- ・ 平成30年度「事業報告書」「事業決算書」は4月の理事会で承認され、6月28日に内閣府へ申請した。
- ・ 国税庁より「源泉所得税の改正のあらまし」、日本年金機構より「算定基礎届等の提出のお願い」の案内が届いた。
- ・ 韓国の劇場関係者から10月15～18日に新国立劇場、東京芸術劇場、サントリーホールを見学したいとの希望があり、日程調整の結果、短時間であれば東京芸術劇場のみ可能であり、東急シアターオーブも候補として調整していたが先方の来日が中止

となった。

- ・ JATET 技術展 2019 セミナー外部講師について、理事の書面審議を行い、議事録を作成し発送済みである。
- ・ 給与明細一覧、古川商事からの消費税変更に伴う資料などの支払いに関する書面、協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧する。
- ・ 各部会、事務局への問合せは適宜回答している。

報告事項は以上で終了。

4. 審議事項

第 1 号議案 イグス株式会社 正会員 A 入会の件 資料-2
中川専務理事から、イグス株式会社の業務内容及び正会員 A 入会申込の経緯についての説明の後、イグス株式会社 正会員 A 入会についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 株式会社シミズオクト 正会員 A 入会の件 資料-3
中川専務理事から、株式会社シミズオクトの業務内容についての説明の後、株式会社シミズオクト 正会員 A 入会についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 3M マネジメント合同会社 澤村 厚志氏 賛助会員 B 入会の件 資料-4
中川専務理事から、澤村厚志氏の賛助会員 B 入会申込及び経歴についての説明の後、3M マネジメント合同会社 澤村 厚志氏 賛助会員 B 入会についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 賛助会員（公財）せたがや文化財団 福田 純平氏 機構部会入部の件 資料-5
中川専務理事から、福田純平氏の機構部会入部届についての説明の後、賛助会員（公財）せたがや文化財団 福田 純平氏 機構部会入部についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 レジャージャパン 2019 への後援名義使用承認の件 資料-6
中川専務理事から資料-6 に基づいて、レジャージャパン 2019 の説明があった後、後援名義使用承認についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 6 号議案 LED NEXTSTAGE2020 協賛名義使用承認の件 資料-7
中川専務理事から資料-7 に基づいて、LED NEXTSTAGE2020 の説明があった後、協賛名義使用承認についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

第 7 号議案 JATET フォーラム 2020 について 資料なし
中川専務理事から、来年は JATET 創立 30 周年記念の年であり、東京オリンピック、パラリンピックの開催年でもあるので早めに日程を決めたいが、10 月はシーテック、11 月には Inter BEE が開催されるので、秋と年度末の繁忙期を避けて、その前なら 8~9 月、後なら 12 月頃が良いのではないかとの意見がある。また開催場所については、2 年に 1 回は技術展を行うという基本方針に従い、来年度は従来通りのセミナーとすると、

前回の座・高円寺、又は類似の施設になると思われる。2021年度は技術展になるので、今年度同様、新国立劇場中劇場に打診したいと考えているとの説明があった。JATET フォーラムの開催時期について理事からは、12月頃が有力と思われるが、東京オリンピック、パラリンピックに併せて来日される要人がいれば、オリンピックとパラリンピックの合間に開催する可能性も考えられること、開催場所については、他にせたがやパブリックシアター、東京芸術劇場、あうるすぽっとなどが考えられると意見が出た。審議の結果、JATET フォーラム 2020 の開催日、開催場所については実行委員会の中で検討し、次回以降の理事会にて審議をすることが全会一致で可決承認された。

第 8 号議案 JATET 誌 86 号編集方針について

資料-8

中川専務理事から、まず第 44 回定例理事会にて JATET 誌 86 号の編集は持ち廻りで映像部会が担当すること、印刷部数は 2500 部を作成することが決定されていること、また広告掲載については、10 月に入ったら各社宛に広告掲載依頼書を送付したいと考えている。資料 - 8 の制作スケジュール表案の説明を行い、具体的な編集テーマ等は 11 月初旬を目途に映像部会から提案を受け、次回理事会にて審議したいことの説明があった後、JATET 誌 86 号編集方針についての審議に入り、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 第 48 回定例理事会（11 月予定）の開催日程について

- ・ 第 48 回定例理事会は令和元年 11 月 27 日（水）14 時からとする。

2) 第 49 回定例理事会（2 月予定）の開催日程について

- ・ 第 49 回定例理事会は令和 2 年 2 月 27 日（木）14 時からとする。





3) 閉会

15 時 15 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

令和1年9月4日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第47回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 健輔	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬 勝一	
議事録作成署名人（小川幹雄）	小川 幹雄	

第 48 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和1年11月27日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第48回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：令和1年11月27日(水) 14:00～15:20

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、

西奈美博副会長（事業担当）、

荻野均副会長（財務担当）、

中川堅司専務理事（事務局統括、国内渉外担当）、

青野時彦（総務担当）、

小川幹雄（国際渉外担当）、

西村岩夫、鈴木伸一、河瀬靖憲

欠席理事：崎山征雄（コンプライアンス担当）、伊東正示、長谷川祥久

出席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司（事務局長）

有効理事総数 12名、出席理事 9名、欠席理事 3名

出席率 75% 監事2名、事務局(1名)、計11名

議事録署名人（書記）河瀬靖憲

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12名中、9名の出席、監事2名、事務局(1名)にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出

2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長

2) 事業報告

西奈美博副会長

資料-1

3)財務報告	荻野均副会長
4)総務報告	青野時彦理事
5)国際協力報告	小川幹雄理事
6)コンプライアンス報告	中川堅司専務理事
7)規程改訂作業部会報告	中川堅司専務理事
8)事務局報告	中川堅司専務理事

4. 審議事項

第 1号議案	選挙管理委員会委員選出について	資料なし
第 2号議案	令和2年度総会開催及び総会日時場所の決定について	資料なし
第 3号議案	部会入部・退部手続き内規（案）の件	資料-規程改訂作業部会
第 4号議案	田中工業(株) 賛助会員A 入会の件	資料-2
第 5号議案	正会員C 本杉 省三氏 退会の件	資料-3
第 6号議案	賛助会員A (株)マイルランテック 退会の件	資料-4
第 7号議案	賛助会員B 清水 卓治氏 退会の件	資料-5
第 8号議案	正会員A イグス(株) 杉田 芳博氏 機構及び照明部会入部の件	資料-6
第 9号議案	賛助会員B 3Mマネジメント合同会社 澤村 厚志氏 映像部会入部の件	資料-7
第10号議案	「ライブ、イベントのためのコミュニケーション機器実演」の共催依頼の件	資料-8
第11号議案	「世界劇場会議国際フォーラム2020in可児」後援名義使用許可について	資料-9
第12号議案	JATET86号について	資料-10
第13号議案	愛知県舞台運営事業協同組合 JATET技術展セミナーの資料使用依頼について	資料-11

5. その他

- 1) 第 49 回定例理事会開催日程（2月）、第 50 回定例理事会開催日程（4月）について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録作成署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が河瀬靖憲氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 43 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 1 年 09 月 11 日（水）14:00～ 第 40 回事業執行連絡委員会

令和 1 年 10 月 15 日（火）14:00～ 第 41 回事業執行連絡委員会

令和 1 年 11 月 7 日（木）14:00～ 第 42 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

西奈美博副会長（資料-1）

各部会の活動報告詳細については資料 1 及び閲覧資料で各部会議事録を参照。

教育研修部会では、「堺市芸術文化ホール（フェニーチェ堺）見学会」を 9 月 13 日（金）に開催し、90 名弱の参加があった。

「日本青年館ホール見学会」を 11 月 19 日（火）に開催し、約 130 名の参加があった。来年 3 月頃に見学会を予定していた高崎芸術劇場の見学会は、会館側が多忙のため次年度開催する予定である。

次年度見学会開催を予定していた「山形県総合文化芸術館」よりオープン前に見学会を実施してほしいとの要望があり、今年度開催に向け現在、日程を調整している。

「札幌文化芸術劇場」、「フェニーチェ堺」の JATET ジャーナルは、2 月頃を発行予定としており現在、編集作業中である。

建築部会では、前回より大きな動きはなし。

機構部会では、11 月の部会から部会長が長原氏から三精テクノロジーズ（株）の蕨内氏へ交代となる。安全手帳について、ホームページに公開予定である。愛知県舞台運営事業協同組合より、JATET 技術展 2019 で配布した資料を、劇場管理運營業務講習会で複製し配布してよいかとの問い合わせがあった。（審議事項）

ワイヤーロープの劣化診断については、方法等を引続き協議していく予定である。

照明部会では、JATET-L 規格 17 項目の確認、改正、改訂を進めており、1 月の事業執

行連絡委員会に提出し、2月の理事会で承認いただけるよう作業している。

音響部会では、舞台連絡設備指針の改訂見直しについて、施設での運用実態調査のため「映像モニタ（CCTV）設備」のアンケートを実施し現在、取りまとめをしている。「音声モニタ及び楽屋呼出アンケート」は、12月に実施予定である。

映像部会では、JATET誌86号の特集テーマを「ネットワーク時代の劇場」とした。後ほど、テーマについてご審議いただく。

広報部会では、9月13日に開催した「フェニーチェ堺」の施設見学会で来場者アンケートを実施し、70%が会員で、業種は機構メーカー、地域は会場が大阪ということもあり地元の参加者が多かった。

11月19日に開催した「日本青年館ホール」の施設見学会で来場者アンケートを実施、現在集計中である。

イ. JATET フォーラム 2019 について

資料-1、閲覧-事業報告資料を参照。

- ・令和1年9月19日（木）14:00～ JATET 技術展 2019 報告会
- ・令和1年9月26日（木）14:00～ 第12回 JATET 技術展 2019 実行委員会を開催した。

報告会で出展者の方々からでた意見を技術展実行委員会で次回開催に向け議論した。

10月24日に西奈美副会長と中川専務理事が新国立劇場総務部長を訪問し、今回の技術展共催のお礼と2年後の技術展の使用について打ち合わせを行い、来年3月頃に自主公演のスケジュールが固まるため、その頃に技術展の計画書等を提出する予定である。

ロ. JATET フォーラム 2020（仮）について

- ・令和1年10月29日（水）14:00～ 第1回 JATET フォーラム 2020（仮）実行委員会
- ・令和1年11月21日（木）14:00～ 第2回 JATET フォーラム 2020（仮）実行委員会を開催した。

現在、2020年12月開催に向け日時、会場を調整中であるが、開催日数は2日間の予定で、300人規模の施設を検討している。

会場候補施設として、品川区立総合区民会館（きゅりあん）、渋谷区総合文化センター大和田（伝承ホール）、北とぴあ（つつじホール）を選び、来年11月分の申込状況を確認したところ、申込抽選日にほとんど埋まってしまう状況のため、候補施設に日暮里サニーホールを加えて、来週12月初めの抽選に参加する予定。

来年は JATET 創立 30 周年記念の年となるので、JATET の活動を幅広く全国に広めること

を目標として、東京で開催するフォーラムを大阪など関西地区の会場でパブリックビューイングとして見てもらうという案が出ている。東京と大阪の会場をネットワークで結んだイベントとして、今後、詳細についての検討を進める予定である。

ハ. JATET 誌について

JATET 誌 85 号は、技術展特集として印刷数 3,500 部で、関係各所へ配布済みである。JATET 誌 86 号は、部会持ち回りで映像部会が編集担当となる。2020 年 2 月頃の発行を予定している。現在、会員、非会員へ広告掲載依頼書をお送りしており、12 月 13 日申込締切としている。引き続き、申込募集中ですので、理事の皆さまにも関係の企業様などにお声がけのご協力をよろしくお願いします。

3) 財務報告

荻野均副会長

閲覧資料—財務報告を参照。

毎月、荻野副会長、青野理事の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしております。特に問題はなし。2019 年度の会費未納者には再請求書を発行し、支払い期限は 11 月 30 日としている。11 月現時点で、正会員 C 3 名、賛助会員 B 1 名が未納の状況。

4) 総務報告

青野時彦理事

事務局関連及び請求書等の閲覧資料を参照。

東京都の最低賃金引き上げに伴い、アルバイトの時給を 10 月 25 日支払い分より時給 1013 円で支払っている。

5) 国際協力報告

小川幹雄理事

前回 9 月に理事会で報告した「アジア・エンターテイメント・安全協議会」の件、8/11 の北京の会議に基づいて、韓国の K T L から、10 月 1 日に「専門用語—舞台機構と吊物」の書類が届いた。専門用語に関して、日本語の訳を記載して送り返してほしいとのことなので、10 月中に機構部会と相談の上、韓国へ送付した。折り返し K T L よりお礼の返事が来て、中国、台湾、シンガポールの資料を集めて 11 月中に各機関に配布するとのことであったが、まだこちらには届いていない。

各言葉の定義については、あまりに膨大なので日本としては時間をかけて対応すると回答したところ、K T L 側から韓国側で対応するとの回答があった。O I S T A T が発刊しているシアターワーズの活用を提案したが、今のところ回答は来ていない。

その他に 8 月のアライアンスで話し合われたことを述べさせていただくと、いずれはアジアで安全規格の統一を作成していくことが目標だが、そのプロセスを報道機関にオープンにし、Web サイトに掲載し進めていくことを決定したとのこと。

新しい国や機関の加入には既存の 5 機関の全会一致を前提に認めることとした。現状では

具体的な申請は出ていない。

次に OISTAT の報告については、10/2 に日本センターの総会が開催され、議事録を JATET 事務局を含む全会員に配布している。

今年は 6 月にプラハで P Q が開催されたが、続けてベルリンで開催された展示会についてもニュース報告を作成し、JATET 事務局に配布している。

6) コンプライアンス報告

崎山理事欠席につき、中川専務理事より期間中にコンプライアンス上問題となる事項はないとの報告があった。

7) 規程改訂作業部会報告

中川堅司専務理事

部会入部・退部手続き内規（案）について、後ほどご審議いただく。

8) 事務局報告

中川堅司専務理事

イ. 内閣府情報

閲覧資料-内閣府情報

内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 79 号（令和 1 年 9 月 11 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 80 号（令和 1 年 9 月 26 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 81 号（令和 1 年 10 月 10 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 82 号（令和 1 年 10 月 25 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 83 号（令和 1 年 11 月 6 日発行）を閲覧
- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 84 号（令和 1 年 11 月 20 日発行）を閲覧

ロ. 経済産業省情報&総務省等

中川堅司専務理事

閲覧資料-経済産業省&総務省等

経済産業省コンテンツ産業課より、「自殺予防週間」における取組の要請についての書面が届いた。9 月 25 日付で「消費税引上げと軽減税率について」情報共有の連絡があった。10 月 10 日に JATET 技術展 2019 の報告のため、経済産業省コンテンツ産業課を訪問した。障害者差別解消法に係る再周知の要請等について、協力をお願いしたいという書面が届いている。

総務省からは特になし。

ハ. JATET ニュース発行について

下記、2 号を配信した。

- ・ JATET ニュース第 212 号 （令和 1 年 10 月 11 日配信）
- ・ JATET ニュース第 213 号 （令和 1 年 11 月 8 日配信）

ニ. 会員情報

中川堅司専務理事
閲覧資料-会員情報

正会員 A イグス(株) 杉田 芳博氏 機構部会及び照明部会入部 (審議事項)
正会員 C 本杉 省三氏 退会 (審議事項)
賛助会員 A (株) マイルランテック 退会 (審議事項)
賛助会員 B 清水 卓司氏 退会 (審議事項)
賛助会員 B 3M マネジメント合同会社 澤村 厚志氏 映像部会入部 (審議事項)
賛助会員 B 吉村 道彦氏 登録情報変更

その他、株式会社スペース・ゼロ、株式会社永田音響設計の役員就任挨拶状が届いており閲覧した。

ホ. 会員情報 閲覧資料-諸団体情報

- ・「世界劇場会議名古屋フォーラム 2019」の事業実施報告書が届いた。
- ・(一社) 日本音響家協会から「ライブ、イベントのためのコミュニケーション機器実演」の共催依頼が届いた。(審議事項)
- ・『日生劇場第 26 回 舞台フォーラム 2019』後援名義使用許可依頼が届いたが、執行理事に確認の上、例年通り許可した。
- ・兵庫県立芸術文化センターから「第 14 回 舞台技術セミナー」の開催案内が届いた。
- ・「世界劇場会議国際フォーラム 2020in 可児」の後援名義使用許可依頼が届いた。
(審議事項)

・OISTAT から「2019 年度通常総会議事録」が届いた。

芸団協メールニュース：9/17(400)～11/18 臨時号

全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：9/17(97 号)～11/15(99 号)

ヘ. 書籍販売状況

中川堅司専務理事
閲覧資料-書籍販売状況

今年度の 10 月末時点までで、226,500 円の販売実績となっている。吊物機構安全指針、同解説が 14 冊、床機構安全指針・同解説が 7 冊、プロオーディオ音響技術 CD が 16 枚、劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法が 7 冊売れている。

ト. 請求書情報

中川堅司専務理事
閲覧資料-請求書情報

金井大道具、佐川急便、JATET 誌 85 号発送代行、OISTAT 会費、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、ゼロックス、アスクル、古川商事などの請求書関連を閲覧した。

チ. HP について

中川堅司専務理事

閲覧資料-ホームページ解析資料

JATET ホームページのアクセス解析・・・8月～10月までのHPアクセス状況を資料に示したものを閲覧する。JATET ニュース発行後に閲覧が増える傾向にある。

8月末に技術展があった関係か、ページビューが1万件を超えていたが、今は落ち着いて4500件前後を推移している状況。

リ. 事務局関連

中川堅司専務理事

閲覧資料-事務局関連

- ・古川商事から、消費税率変更に伴う賃料などの支払い額変更、尾澤会計事務所からの、消費税率変更に伴う委嘱契約書対応に関するお知らせが届いている。
- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧する。
- ・事務所の照明の球切れが多かったので、照明をLEDに交換する工事を行った。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第1号議案 選挙管理委員会委員選出について

資料-12

資料-12に選挙管理委員会委員推薦名簿を示す。

役員選任規程では、(選挙管理委員会)について以下のように規定している。

第9条 役員選挙に際しては、

- 1 選挙管理委員会を設置する。
- 2 選挙管理委員の人選は、理事会が行う。
- 3 選挙管理委員として、理事及び監事の選挙に立候補しない正会員の中から5名を選出し、選挙管理委員会を構成する。
- 4 選挙管理委員会は、過半数の選挙管理委員の出席により成立する。
- 5 選挙管理委員会は、本規程にもとづき、立候補届用紙、立候補者名簿、投票用紙などの作成、投票及び開票などの業務を統括し、選挙結果を総会で報告する。選挙に関わる疑義を解釈した場合は、総会の場で報告するとともに、本会の広報により会員に周知する。
- 6 選挙管理委員会は、過半数の選挙管理委員立会いのもとで厳正に開票しなければならない。
- 7 選挙管理委員会は、開票事務に支障のないと判断した場合は、開票に際し正会員の任意の立会いを認めることができる。
- 8 選挙管理委員会の事務は事務局が担当する。

来年度が役員改選の年になり、この規程に則り通常総会の場で選挙を行うこととなる

ため、選挙管理委員会を設置して準備を進めていくことが必要となる。

資料-12にあるように

正会員 A (株)進栄産業 池田 健氏

正会員 A 三精工事サービス(株) 畑中 祐介氏

正会員 B (株)石本建築事務所 南 知之氏

正会員 C (有)桂川研究室 桂川 潤次郎氏

正会員 C アールエムトラスト(株) 青池 佳子氏

の5名を選挙管理委員に推薦する。万一の次点候補として、

正会員 C (株)エイチ・ツー・オー 岡田 一雄氏

を加えた6名の方のご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、選挙管理委員会委員選出について候補者1名ずつ審議を行い、5名に次点候補1名を加えた全員の可決が全員一致で承認された。

第2号議案 令和2年度総会開催及び総会日時場所の決定について

定款第16条の定めにより、「通常社員総会は、毎年1年毎事業年度終了後3箇月以内に開催する。」とある。また、定款第16条と同内容が、社員総会運営規則第3条(開催)に定められている。先ずは例年のごとく、5月の開催についてご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、令和2年度の総会の開催についての決議があり、全員一致で可決承認された。

その後に開催日時と場所について、日時は5月27日(水)、場所はホテルローズガーデン新宿という説明があり、開催日時と場所について全員一致で可決承認された。

続いて、総会後の懇親会の開催について説明があり、懇親会を昨年同様に有料とするかの審議が行われ、総会後の懇親会の開催と会費を有料3000円(税抜き)とすることが全員一致で可決承認された。

第3号議案 部会入部・退部手続き内規(案)の件について

資料-規程改訂作業部会報告

昨年、第43回定例理事会において「部会の登録手続きの簡素化」についての審議があり、発案者の鈴木理事と中川で作業部会を立ち上げて、具体的な検討をすることとなった。

現行の部会参加申込の方法、部会登録の手順を法人会員と個人会員に分けて整理し、部会を退部する場合の手続きを併せて「部会入部・退部手続き内規(案)」を作成して、部長の意見も伺いながら検討を進めてきた。従来、部会参加申込は2種類の書面を提出していたが、これを1枚に見直し、法人会員用と個人会員・非会員用としてそれぞれ提出いただくこととした。部会への参加申込、退部届けは従来通り随時受け付けるが、役員改選年度の部会委員の改選については、前年度から部会委員を継続する者は、改めて部会参加申

込書の提出は不要とし、部会長が理事会に提出した部会委員名簿を、理事会が承認することで更新出来るように見直しを行った。部会参加申込書（法人会員用）の書式を添付のように見直した。同様に部会参加申込書（個人会員・非会員用）についても添付内容で書式を見直した。ご審議をお願いします。

鈴木理事から補足として、複数の部会に参加する場合に理由書の提出が必要でしたが、教育研修部会や広報部会のような法人会員の方に参加してもらわないと成立しない部会もあり、手続きを簡素化する意味で、理由書の提出の見直しを行いました。また任期の話も、名称が部会員ではなく、部会委員となっており音響部会や映像部会等は自発的な参加なので部会員が良いのではないかと思います。教育研修部会や広報部会のような業務に関わる部会は公益社団法人の業務を担ってもらうという事で委員として任命を行い、任期を設けて担当してもらうことが良いのではないかと思います。将来的には技術系の部会と業務系の部会を分けて、業務系の部会は定款にもある委員会として任命し、委員会には担当理事が付くという組織形態へ定款の見直しを行うべきと思いました。また定款も長期に渡り運用されており、来年以降で定款の見直しを考えることも必要かと感じました。との意見がありました。森会長からも個人的な意見として、定款の見直しは必要と感じており、特に公益事業比率については課題でもあり、公益事業を含めた見直しが必要と認識しております。また部会と委員会の線引きについても、我々ももう少し気を付けないといけないと認識しています。動きやすい組織形態に移行するのであれば汗を流して行う必要がある。森会長から、部会参加申込書の会長名は来年の役員改正を考えると、氏名は空白とする提案があった。

西村理事から資料3ページの部会参加申込書の記載事項と部会参加申込書の記載事項が一致していないと指摘があり、事務局で資料3ページ目を修正することとした。

以上の審議の後、部会入部・退部手続き内規（案）の件については修正することを前提とし、全員一致で可決承認された。

第4号議案 田中工業(株) 賛助会員A 入会について

資料-2

田中工業株式会社は、本社を新潟県刈羽郡におく会社で、現場鍛冶工事専門として設立され、耐震改修工事や特定天井の耐震化工事、増改築工事を得意としている。特定天井耐震改修工事としては、新潟県長岡市長岡市立劇場、小千谷市民会館、埼玉県所沢文化センター大ホール、中小ホールなどの施工実績がある。会社情報を閲覧する。

10月10日付で入会届が届いているので、ご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、田中工業(株) 賛助会員A 入会について審議が行われ、全員一致で承認された。

第5号議案 正会員C 本杉 省三氏 退会について

資料-3

ご本人より 2019 年 3 月末付で退会届を出したつもりだったとの連絡があったが、事務局へは届いていない。2019 年 6 月 10 日付で退会届の書面が届いた。今年度 4 月 1 日時点で令和元年度正会員として既に登録されているので、協会としては来年 3 月末までに会費をお支払いしていただけるよう引き続き連絡はしていく。ご審議をお願いします。中川専務理事の説明の後、正会員 C 本杉 省三氏 退会について審議が行われ、全員一致で承認された。

第 6 号議案 賛助会員 A (株)マイルランテック 退会について 資料-4

9 月 24 日付で退会届が届いている。業務内容が大幅に変化したことにより退会したいという連絡があった。ご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 A (株)マイルランテック 退会について審議が行われ、全員一致で承認された。

第 7 号議案 賛助会員 B 清水 卓治氏 退会について 資料-5

11 月 1 日付で退会届が届いている。清水卓治氏は、株式会社シミズオクトの代表取締役会長の職に就かれておりますが、今年度、株式会社シミズオクトとして法人正会員 A に入会いただきましたので、個人としての賛助会員を退会されたいとのこと。ご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 清水 卓治氏 退会について審議が行われ、全員一致で承認された。

第 8 号議案 正会員 A イグス(株) 杉田 芳博氏 機構及び照明部会入部について 資料-6

杉田 芳博氏より機構部会、照明部会入部届が届いている。

中川専務理事の説明の後、正会員 A イグス(株) 杉田 芳博氏 機構及び照明部会入部について審議に入り全員一致で可決承認された。

第 9 号議案 賛助会員 B 3M マネジメント合同会社 澤村 厚志氏 映像部会入部の件

資料-7

澤村 厚志氏より映像部会入部届が届いていますので、ご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、賛助会員 B 3M マネジメント合同会社 澤村 厚志氏 映像部会入部について審議が行われ、全員一致で承認された。

第 10 号議案 「ライブ、イベントのためのコミュニケーション機器実演」の共催依頼の件

資料-8

(一社)日本音響家協会より、「ライブ、イベントのためのコミュニケーション機器実演」の共催依頼が届いている。2020 年 2 月 5 日～6 日にかけて「ライブ・エンターテイメント

EXPO」内で、「ライブ、イベントのためのコミュニケーション機器実演」としてワイヤレスインカム、IP トランシーバ、映像モニタ装置、イヤモニタその他の機器を体感することをテーマにした実演を行うとのこと。主催は（一社）日本音響家協会、共催として（一社）日本舞台監督協会となっているが、JATET にも共催いただきたいという依頼です。ご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、「ライブ、イベントのためのコミュニケーション機器実演」の共催依頼について審議が行われ、全員一致で承認された。

第 11 号議案 「世界劇場会議国際フォーラム 2020in 可児」後援名義使用許可について

資料-9

世界劇場会議名古屋から、2020 年 1 月 30 日、31 日に開催予定の「世界劇場会議国際フォーラム 2020in 可児」の後援名義使用許可について申請が届いている。ご審議をお願いします。

鈴木理事から後援と共催の違いについて質問があり、中川専務理事から後援と共催の違いについて説明があった。

鈴木理事より共催における、費用負担の件について質問があり、中川専務理事から今回の案件に関しては、共催であるが JATET に対しては費用負担を求めないことになっている。JATET から共催をお願いすることも多く、技術展やフォーラムなどで新国立劇場は共催でお願いし、公文協、日本舞台音響家協会、日本照明家協会にも会員数も多いという事もあり共催をお願いしている。その他メーカーの集まりの協会には協力や後援依頼を行うなど分けて前任者の時からお願いしている。今後見直す必要が出るかもしれないが、現状はこのようなしていると説明があった。

中川専務理事の説明の後、「世界劇場会議国際フォーラム 2020in 可児」後援名義使用許可について審議が行われ、全員一致で承認された。

第 12 号議案 JATET 誌 86 号について

資料-10

JATET 誌 86 号の編集は持ち回りで映像部会が担当する。

特集テーマは「ネットワーク時代の劇場」としている。

既に特集テーマについて、各部会には執筆依頼をしており、また映像部会が中心となって必要な情報について取材も行なっている状況。ご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後 JATET 誌 86 号について審議が行われ、全員一致で承認された。

第 13 号議案 愛知県舞台運営事業協同組合 JATET 技術展セミナーの資料使用依頼

について

資料-11

愛知県舞台運営事業協同組合より、来年 1 月 14 日に開催予定の「劇場管理運営業務講習会」で、JATET 技術展 2019 で配布された資料を、複製し配布してよいかとの問い合わせ

が届いている。講習会では「JATET 技術展報告」として、JATET 自体の解説を踏まえて、各部会のセミナーについて報告を行うとのこと。使用許可についてご審議をお願いします。

中川専務理事の説明の後、愛知県舞台運営事業協同組合 JATET 技術展セミナーの資料使用依頼について審議が行われ、全員一致で承認された。

5. その他

1) 第 49 回定例理事会（2 月）の開催日程について

第 49 回定例理事会は令和 2 年 2 月 27 日（木）14 時からとする。

第 50 回定例理事会（4 月）の開催日程について

第 50 回定例理事会は令和 2 年 4 月 24 日（金）14 時からとする。





2) 閉会

16 時 20 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

令和1年11月27日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第48回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 健輔	
監事（尾澤輝行）	尾澤輝行	
監事（間瀬勝一）	間瀬 勝一	
議事録作成署名人（河瀬靖憲）	河瀬靖憲	

第 49 回 定例理事会

議 事 録 (正)

令和 2 年 2 月 2 7 日

公益社団法人 劇場演出空間技術協会

公益社団法人 劇場演出空間技術協会 (JATET)

第49回 定例理事会 議事録 (正)

日 時：令和2年2月27日(木) 14:00~15:55

場 所：JATET 会議室

東京都千代田区神田鍛冶町3-8-6 古川ビル TEL：03-5289-8858

出席理事：森健輔会長、

西奈美博副会長(事業担当)、

荻野均副会長(財務担当)、

中川堅司専務理事(事務局統括、国内渉外担当)、

小川幹雄(国際渉外担当)、

河瀬靖憲、西村岩夫、鈴木伸一、長谷川祥久

欠席理事：青野時彦(総務担当)、崎山征雄(コンプライアンス担当)、伊東正示

出席監事：なし

欠席監事：尾澤輝行、間瀬勝一

欠席顧問：高田一郎

事務局：中川堅司(事務局長)

有効理事総数 12名、出席理事 9名、欠席理事 3名

出席率 75% 監事0名、事務局(1名)、計9名

議事録署名人(書記) 西村岩夫

議事録要旨：定例理事会

定足数確認：有効理事総数 12名中、9名の出席、監事0名、事務局(1名)にて本理事会は定足数の過半数を確保し成立した。

議事次第

1. 議長選出

2. 議事録記録署名人選出

議事

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長

2) 事業報告

西奈美博副会長

資料-1

3) 財務報告

荻野均副会長

4) 総務報告

荻野均副会長(代理)

5) 国際協力報告

小川幹雄理事

6) コンプライアンス報告

中川堅司専務理事(代理)

7) 規程改訂作業部会報告

中川堅司専務理事

8) 事務局報告

中川堅司専務理事

9) その他

4. 審議事項

第 1 号議案	令和 2 年度事業計画の件	資料-2
第 2 号議案	令和 2 年度事業予算の件	資料-3
第 3 号議案	尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事推薦の件	資料なし
第 4 号議案	総会時の出席しない社員の書面による議決権行使について	資料なし
第 5 号議案	令和 2 年度資金運用計画について	資料-4
第 6 号議案	賛助会員 A 野村不動産パートナーズ(株)退会の件	資料-5
第 7 号議案	賛助会員 B 藤田 怜氏 退会の件	資料-6
第 8 号議案	賛助会員 A 田中工業(株)田中 慎一氏 建築部会入部の件	資料-7
第 9 号議案	賛助会員 A (株)三和製作 古澤 大賀氏 機構部会退部の件	資料-8
第 10 号議案	常勤役員の報酬年額の決定について (総会承認事項)	資料なし
第 11 号議案	中川専務理事への令和元年度特別報酬について	資料なし
第 12 号議案	セミナー「舞台技術者のためのコミュニケーション機器」の 共催依頼について	資料-9
第 13 号議案	賛助会員 A ヒビノ(株)退会の件	資料-10
第 14 号議案	賛助会員 A (株)三精エンジニアリング 退会の件	資料-11

5. その他

- 1) 第 50 回定例理事会開催日程 (4 月) について
- 2) 閉会

1. 議長選出

定款第 42 条の規定により森健輔会長を議長に選出した。

2. 議事録記録署名人選出

定款第 46 条（議事録）の規定に従い議事録作成署名人の選出。出席理事の中から議長が西村岩夫氏を指名し、同氏はこれを受諾した。

3. 報告事項

1) 業務報告

森健輔会長（資料-議事録）

下記の通り、第 44 回定例理事会以降の業務報告がされた。

令和 1 年 12 月 12 日（木）	14:00～	第 43 回事業執行連絡委員会
令和 2 年 1 月 16 日（木）	14:00～	第 44 回事業執行連絡委員会
令和 2 年 2 月 18 日（火）	14:00～	第 45 回事業執行連絡委員会

2) 事業報告

西奈美博副会長（各部会資料、資料-1）

各部会の活動と次年度事業計画について
報告詳細については各部会資料を参照のこと。

教育研修部会では、11 月 19 日、12 月 18 日、1 月 28 日に部会を開催した。

- ・「山形県総合文化芸術館見学会」を 3 月 17 日（火）に開催予定であるが、本日 2 月 27 日午前中に開催した部会において、コロナウイルス感染予防の観点から延期する提案があった。本日会館支配人が休みのため明日連絡を取り延期の方針について相談することとした。また、部会からは本日の理事会で開催すべきか延期すべきか審議して頂くよう申し出があった。上記報告の後、見学会開催について理事会で審議し、延期することとなった。
- ・「札幌文化芸術劇場」「フェニーチェ堺」の JATET ジャーナルは、3 月頃を発行予定としており現在、編集作業中である。

<次年度事業計画>

- ・部会を原則月 1 回開催し、新設、改修された劇場、施設の情報収集していく。
- ・新設、改修された劇場、施設に対し、施設見学会を年 3 回を目標に開催する。施設見学会候補施設は、「御園座」「柳川市民文化会館」「高崎芸術劇場」を予定している。
- ・見学会が開催された劇場、施設を JATET ジャーナルで紹介し、最新の劇場技術、リニューアルの実例等を全国に無料にて提供していく。
- ・スタジオ、仮設劇場、制作場など劇場以外の新たな見学先を模索し、建築、設備の見学だけでなく、一般には公開されない施設を見学することで、設計事務所やゼネコンの方たちの新たな設計、施工への発想を促し、新しい劇場、演出空間の建設に役立てていく。

建築部会では、1 月 20 日に部会を開催した。

- ・JATET フォーラムテーマについて協議し、今後の劇場計画において参考になりそうな施設を紹介予定である。

<次年度事業計画>

- ・部会を原則月 1 回開催し、次に掲げる調査研究を実施していく。
- ・今後の演劇やそれを上演する劇場の方向性について探求する。具体的には継続的に話題性のある演劇作品を制作、上演し続ける渋谷の 2 つの劇場を題材の中心としていく。
- ・JATET フォーラム 2020 において、前述のテーマでセミナーを実施していく。

機構部会では、11月20日、12月11日、1月22日に部会を開催した。

- ・安全手帳を JATET ホームページに公開した。
- ・ワイヤーロープ劣化診断について、担当の長原氏より試験方法の説明とワイヤーロープ提供の要請があった。
- ・JATET フォーラム 2020 テーマについて、機構部会として「安全」「将来」を大きなテーマとする予定で進めている。

<次年度事業計画>

- ・部会を月1回開催（3月、8月を除く）し、必要により研究会を行なっていく。
- ・JATET フォーラム 2020 において機構分野を担当する。
- ・床機構安全指針の見直しを行なっていく。
- ・吊物装置における各駆動方式等の調査、研究を行なっていく。
- ・その他の事業において機構分野の分担、協力をしていく。

照明部会では、2月13日に部会を開催した。

- ・JATET-L規格17項目の確認、改正がほぼ終了し、現在PDF、WORDデータを取りまとめており、3月末までに改正PDFデータを現状のデータから差し替える予定。
- ・JATET フォーラム 2020 では、実際に新しい卓を持ち込んでデモンストレーションができるか検討中である。

<次年度事業計画>

- ・JATET フォーラム 2020 開催にあたって、照明部会としてセミナー等で参加、協力をしていく。
- ・舞台照明でのネットワークとDMX-512に関する資料を作成して公開していく。
- ・JATET-L-7190の改正作業を行なっていく。
- ・照明器具の明るさや、照射エリアについての考え方の統一とともに、フィールド角やビーム角などの特殊な用語について定義を行い、ユーザーが照明器具を選択するときの情報をわかりやすく統一できるよう検討を進めていく。
- ・施設管理者と施設利用者が抱える困りごとの対策を研究し、舞台芸術の振興と科学技術の発展に寄与することが必要な時期と考え、「新築/改修施設の調査報告」「施設利用時における常設機材と持込機材の運用調査」「施設利用時における純直電源とネットワークの運用調査」について、特定の劇場・ホールをピックアップして運用内容を聞き取り調査をおこない、そのために研究会、またワーキンググループを立ち上げていく。

音響部会では、12月20日、2月20日に部会を開催した。

- ・インターカム設備のアンケートについて、集計作業が完了し、現在集計結果を分析中である。
- ・「音声モニター及び楽屋呼出アンケート」は、現在、実施中である。

<次年度事業計画>

- ・電源電圧の違いによるパワーアンプ出力信号への影響について、パワーアンプを100V、200V駆動した時の出力信号を計測しその特性を評価、加えてスピーカからの拡声音について試聴により評価する。
- ・音響電源200V使用時に安全に運用できるコネクタについて、安全性、汎用性の高い電源コネクタを調査、選定し、劇場等演出空間用標準コネクタとして推奨していく。
- ・劇場等演出空間用音響設備の劣化診断・適正更新時期判定について、音響設備の劣化診断を実施するためのチェックリストを作成し、その結果をもとに適正な更新時期が判定できる基準を策定する。
- ・舞台連絡設備指針改定に向けた調査研究として、前年度に実施したアンケート調査票を集計、分析し、その結果をJATETフォーラムで発表する。

映像部会では、

- ・部会持ち回りで担当した「JATET 誌 86 号」を発行し、関係各所へ発送した。

〈次年度事業計画〉

- ・月 1 回の部会及び研究会の開催を目標にし、関連情報の収集および会員への情報発信、相互連携に注力することを目標に、映像部会研究会を開催すると共に、以下の研究テーマを中心に最新動向の研究調査を実施していく。
- ・今年度は、次に来るものに向けたビジョンを議論すると共に、ネットワーク技術の動向を調査研究し、その成果を JATET フォーラムで発表することを目指していく。
- ・オリンピックでのネットワーク技術の活用事例について、外部講師による研究会を開催し、最新情報の取得および取り組むべき課題を議論、映像部会から広く情報発信を目指していく。

広報部会では、12 月 16 日、2 月 17 日に部会を開催した。

- ・11 月 19 日に開催した「日本青年館ホール」の施設見学で来場者アンケートを実施した。参加者 127 名のうち 99 名の回答があった。38%が非会員であり、業種としては、「建築・設備設計者」が 37%と高いが、会員でない場合が多く、会員になることへのメリットをどのように伝えていくか課題が残った。
- ・JATET リーフレットについて、PDF 版データを作成し、HP よりダウンロードできるように進めていく。また、英語版リーフレットを作成し、活動の紹介などを HP に掲載予定である。

〈次年度計画〉

- ・部会を隔月 1 回開催する。
- ・JATET とその活動についての情報発信を図り、社会のニーズを調査し、JATET とその活動範囲の拡大と活性化を図っていく。必要に応じて JATET リーフレットの改訂、英語版の作成を検討し、JATET 安全手帳の普及等へ協力していく。
- ・JATET の重要な広報媒体である JATET 誌の編集に際して、編集担当部会に協力をしていく。
- ・JATET 主催行事の運営に協力していく。

イ. JATET フォーラム 2020 について

(資料-1)

下記の通り JATET フォーラム 2020 実行委員会を開催した。

令和 2 年 1 月 10 日 (金) 14:00～ 第 3 回 JATET フォーラム 2020 実行委員会

令和 2 年 2 月 25 日 (火) 14:00～ 第 4 回 JATET フォーラム 2020 実行委員会

開催場所として、「渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール」に決定した。

日時は令和 2 年 12 月 16 日 (水) に仕込み及びリハーサル、17 日 (木) ～18 日 (金) に本番となる。

テーマについては、JATET 創立 30 周年を踏まえ、年度内に決定予定で 4 月の理事会で報告、審議頂く予定。また、東京と関西地域をネットワークで結んだパブリックビューイング等を行うかどうかについては、どこまでのことが可能か今年度中に決定する予定。

ロ. JATET 誌について

JATET 誌 86 号は、先週、関係各所へ発行済み。

鈴木理事より、JATET 誌 86 号で執筆した「3 劇場をつないで見た、ネットワーク時代の劇場の可能性」の記事について、北九州芸術劇場の中村氏からその記事を当劇場の機関誌に転載したいとの連絡があった。この記事に関しては、特に著作権が絡むような写

真も使用していないので問題ないと思われませんが如何でしょうか。

事務局の意見としては、この「技術セミナー」は札幌文化芸術劇場、兵庫県立芸術文化センター、北九州芸術劇場の共催で行われた内容であるので、札幌、兵庫の2劇場にも連絡して了承を得れば良いと考える。

森会長から他の2劇場が記事転載について了承であれば良いと考えるので、鈴木理事から他の2劇場に連絡し、了承を得て作業を進めることとする。

3)財務報告 萩野均副会長（閲覧資料－財務報告）
毎月、萩野副会長、青野理事の両名で総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳等の確認をしておき問題なし。

2019年度の会費は、未納者に対しては再々請求書を発行済みで支払い期限は2月10日までとなっている。現時点で、正会員C2名、賛助会員B1名が未納となっている。3月19日期限で再々々請求を行う。

JATET誌86号広告掲載請求書については、発行済みで3月23日までの支払い期限となっている。

令和2年度資金運用計画については、後ほど審議に諮る。

4)総務報告 代理：萩野均副会長（閲覧資料－事務局関連・請求書等）
JATETフォーラム2020関連のセミナー会場費の半額は支払い済みで、残り半額は次年度に支払いの予定となる。

「常勤役員の報酬年額の決定について」と「中川専務理事への令和元年度特別報酬について」は、後ほど審議に諮る。

5)国際協力報告 国際渉外担当 小川幹雄理事（閲覧資料－国際協力報告）
韓国産業技術試験院（KTL）からJATET事務局あてにメールがあり、5月のJATET総会に出席し、それに合わせアジア・エンターテイメント・セーフティー・アライアンス（AESAs）の協議をしたいとのこと。具体的な内容は承知していないが、AESAsの方向性について韓国と中国で齟齬があるように思われる。また、KTLからNPO法人の日本舞台技術安全協会とコンタクトを取りたいとのことで、事務局からその件について連絡を入れて頂いた。

現状、AESAsについてJATETはKTL内のシアター・セーフティー・センター（TSC）と会話している。韓国側の意向としては、安全に焦点を置いてAESAsを進めていきたいという思いがあるが、中国側はもう少し大きな括りで考えているよう。KTLが来日したらAESAsについてこれからどうするのか、AESAsは5か国によるアライアンスなので全体としてどういう方向で進んでいくのか協議したいと考えている。

OISTAT日本センターでは、3月18日に理事会とトークの集いを開催予定。

事務局より、TSCのハン氏から連絡がありJATETの総会日程について問い合わせがあり日程をお知らせした。JATETの総会に出席する予定で現在スケジュール調整しているとのこと。また、NPO法人日本舞台技術安全協会（JASST）とコンタクトを取りたいので紹介してほしい旨連絡があったので、現在、事務局でJASST訪問のスケジュール調整を行っている。

6)コンプライアンス報告 代理：中川堅司専務理事
コンプライアンスに抵触するような事象は無い。

7)規程改訂作業部会報告 中川堅司専務理事
特に規定改訂に関する事項及び作業は無い。

8) 事務局報告

中川堅司専務理事
閲覧資料-内閣府情報

イ. 内閣府情報

内閣府からの情報は、下記閲覧資料のとおり。

- ・内閣府 公益法人メールマガジン第 85 号（令和 1 年 12 月 4 日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第 86 号（令和 1 年 12 月 18 日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第 87 号（令和 2 年 1 月 15 日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第 88 号（令和 2 年 1 月 29 日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第 89 号（令和 2 年 2 月 12 日発行）を閲覧
 - ・内閣府 公益法人メールマガジン第 90 号（令和 2 年 2 月 19 日発行）を閲覧
- 「マイナンバーカードの積極的な取得と利活用の促進について」協力依頼が届いた。
「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」のお知らせが届いた。
「役職員の方が休みやすい環境整理に向けて」協力依頼が届いた。

ロ. 経済産業省情報&総務省等

閲覧資料-経済産業省&総務省等

経済産業省コンテンツ産業課より

- ・「人権教育・啓発に関する研修」の開催案内が届いた。
 - ・感染症対策に係るチラシが届いた（周知・掲示依頼）
 - ・中国における新型コロナウイルスに関する注意喚起が届いた（周知依頼）
- 総務省からは特に情報なし。

ハ. JATET ニュース発行について

- ・JATET ニュース第 214 号（令和 1 年 12 月 6 日配信）
- ・JATET ニュース第 215 号（令和 2 年 1 月 28 日配信）

ニ. 会員情報

閲覧資料-会員情報

- ・賛助会員 A 野村不動産パートナーズ(株) 退会（審議事項）
- ・賛助会員 A ヒビノ(株) 退会（審議事項）
- ・賛助会員 A (株)三精エンジニアリング 退会（審議事項）
- ・賛助会員 B 藤田 怜氏 退会（審議事項）
- ・賛助会員 A 田中工業(株) 田中 慎一氏 建築部会入部（審議事項）
- ・賛助会員 A (株)三和製作 古澤 大賀氏 機構部会退部（審議事項）
- ・賛助会員 A 野村不動産パートナーズ(株)登録内容変更

その他、KYB ステージエンジニアリング株式会社、東京出張所の移転並びに相模出張所の開設の案内が届いている。

ホ. 諸団体情報

閲覧資料-諸団体情報

- ・公文協から「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会」の開催案内が届いた。
- ・舞台技術者連合からの「舞台技術者のための横断的総合研修（上級）」の開催案内が届いた。
- ・「ProLight & ProVisual2020」のお知らせが届いた。
- ・セミナー「舞台技術者のためのコミュニケーション機器」の共催依頼が届いた。（審議事項）
- ・芸団協メールニュース：12/2(405)～2/19（臨時号）
- ・全国公文協メールマガジン「情報フォーラム」：12/11(臨時号)～1/15(101)
- ・全国公文協バリアフリー化推進プロジェクトメールマガジン：1/31（1号）

へ. 書籍販売状況

閲覧資料-書籍販売状況

1 月末までの総売上は 354,600 円、書籍の販売状況は、「吊物機構安全指針・同解説」が 29 部、「床機構安全指針・同解説」が 10 部、「劇場等演出空間における音響設備動作特性の測定方法」が 12 部、「Pro Audio Acoustics Technical CD」(プロオーディオ音響技術 CD) が 22 枚など販売。

ト. 請求書情報

閲覧資料-請求書情報

佐川急便、かんの社労士事務所、尾澤会計事務所、ゼロックス、アスクル、古川商事などの請求関連を閲覧した。

チ. HP について

閲覧資料-ホームページ解析資料

JATET ホームページのアクセス解析状況の資料を閲覧した。アクセス数は 11 月が約 4,000、12 月が 3,200、1 月が 3,800 となっている。

リ. 事務局関連

閲覧資料-事務局関連

- ・協会けんぽからのお知らせ、日本年金機構からのお知らせなどを閲覧した。
- ・令和元年度の各部会「事業報告書」「事業決算書」の提出は、3 月 19 日までをお願いしたい。
- ・本日の理事会で審議する「事業計画書、予算書」は、3 月 23 日頃までに内閣府へ提出予定。
- ・事務局の Windows パソコン 1 台が不具合のため新しく買い換えた。残りの Windows パソコン 2 台は、Windows7 でサポートが終了しているため、4 月以降 Windows10 の OS に入れ替える予定。
- ・第 1 回選挙管理委員会を 12 月 13 日に開催し、委員長は(株)進業産業の池田氏に決定した。選挙管理委員会として、3 月 2 日に役員改選関連書類・立候補用紙を正会員に送付し立候補を受付、4 月頭に立候補を締切、4 月 11 日に第 2 回選挙管理委員会を行う予定。また、4 月の理事会で立候補者の承認を得て、総会議案書は 5 月 11 日必着で正会員に送付する予定。
- ・各部会、事務局への問い合わせは適宜回答している。

4. 審議事項

第 1 号議案 令和 2 年度事業計画の件

資料-2

中川専務理事より第 1 号議案 令和 2 年度事業計画について説明があった。
詳細は資料-2 を参照。

議案説明の後、審議に入り第 1 号議案 令和 2 年度事業計画の件、全員一致で可決承認された。

第 2 号議案 令和 2 年度事業予算の件

資料-3

中川専務理事より第 2 号議案について説明。

経常増減の部の経常収益について、この年度末に退会する会員もあり、協会として会員増強を図る必要がある。来年度に向けては、輸入代理店をターゲットにした正会員 B、その他会員種の入会勧誘を進め、正会員 B 1 社、正会員 C 1 名、賛助会員 A 2 社、賛助会員 B 2 名の新規会員獲得を目指す。

事業収益は、JATET フォーラムの開催収益で 256 万円、発刊物販売収益で 40 万円、施設見学会開催収益で 66 万円、JATET 誌は、JATET フォーラム告知号として 87 号、88 号合併号を発行し、広告収益は 40 社で 800 万円を目標としている。

経常収益計は 2874 万円を見込んでいる。

経常費用は、事業費で 2223 万円、管理費が 715 万 2 千円となり経常費用の合計が 2,938 万 2 千円、収支はマイナス 64 万 2 千円となる。

事業費の内訳は、主なものとして部会費が 70 万円、JATET フォーラム開催費が 360 万円、施設見学会開催費が 110 万円となっている。JATET ジャーナルは、今年度に開催した施設見学会分を含めて 5 誌発行する予定で 75 万円、福利厚生費、事務機、家賃、光熱費など管理費との割合分割分を含めた事業費合計は、2223 万円となる。管理費は例年とほとんど変わらず 715 万 2 千円を見込んでおり、経常費用合計は 2938 万 2 千円となる。

議案説明の後、審議に入り第 2 号議案 令和 2 年度事業予算の件、全員一致で可決承認された。

第 3 号議案 尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件 (資料なし)

中川専務理事より第 3 号議案について説明。

役員選任規程では、(役員を選任)「第 6 条 役員(理事及び監事)は定款第 27 条の定めにより、社員総会において、正会員(法人又は団体の場合にあつては、会員代表者とする。以下同じ)のうちから選任する。ただし、特に必要があると認められる場合は、理事にあつては 2 人、監事にあつては 1 人を限度として、理事会の承認を得て推薦された者が、総会の選挙で当選した場合に限り、正会員以外の者を理事又は監事に選任することを妨げない。」と規定している。従って、尾澤監事に引き続き来期の監事をお願いするのであれば、本理事会の推薦が必要である。

議案説明の後、審議に入り第 3 号議案 尾澤監事の次回役員選挙監事候補の理事会推薦の件、全員一致で可決承認された。

第 4 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件 (資料なし)

中川専務理事より第 4 号議案について説明。

定款では、(書面表決等)「第 21 条 社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面または電磁的記録により表決し、又は代理人によってその議決権を行使することができる。2 前項の代理人は、代理権を証する書面を会議ごとに提出しなければならない。3 第 1 項の場合における前 2 項の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。4 社員総会に出席しない社員が書面によって議決権を行使することができることとするときは、理事会の決議によらなければならない」とあるので、本理事会で審議に諮る。

議案説明の後、審議に入り第 4 号議案 総会時の出席しない社員の書面による議決権行使の件、全員一致で可決承認された。

第 5 号議案 令和 2 年度資金運用計画について 資料-4

荻野副会長より第 5 号議案について説明。

令和 2 年度の資金運用方針は、例年通り当協会の現預金保有状況、令和 2 年度事業計画に鑑み、運用収益を積極的に求める運用は行わず、日々の入出金の確実な管理と資金の保全に重点を置いた資金運用とする。そのため、取引先の金融機関、三菱 UFJ、みずほ、ゆうちょの 3 銀行の普通預金、定期預金での運用を原則とする。

2020 年 1 月 31 日現在の現預金残高は、方針書に示したとおり。残高合計は、1508 万 4 千 149 円となっている。

議案説明の後、審議に入り第 5 号議案 令和 2 年度資金運用計画について、全員一致で

可決承認された。

次に今年度の特定費用準備金の積立について、理事会の意見を伺いたい。現在、事務局及び尾澤会計事務所にて今年度の決算数字を確認しているが、2月14日時点の試算では、180万円程度のプラスとなる見込みである。また、技術展の開催により、公益目的事業比率は約58%を確保できる見込みである。

特定費用準備金は、将来の特定の活動の実施のために特別に支出する費用にかかる支出に充てるために保有する資金であり、目的外使用は出来ず、積み立てた額は計画した通りに取り崩すことが求められる。今年度決算のプラスが見込めることから、年度内に120～150万円程度を積み立てたいと考えている。

森会長より、特定費用準備金額が120～150万円と幅があるのはどうしてか。

中川専務理事より、今年度の収支の確定は、4月1日となるので山形見学会延期などのような影響を考慮し、特定費用準備金額に幅を持たせている。

特定費用準備資金については、2年後の事業に向け120～150万円の範囲で積み立てることとする。

第6号議案 賛助会員A 野村不動産パートナーズ(株) 退会の件 資料-5

中川専務理事より第6号議案について説明。

野村不動産パートナーズにおいて劇場に関する事業が減ってきていることから、この年度末を持って退会することとなった。

議案説明の後、審議に入り第6号議案 賛助会員A 野村不動産パートナーズ(株) 退会の件、全員一致で可決承認された。

第7号議案 賛助会員B 藤田 怜氏 退会の件 資料-6

中川専務理事より第7号議案について説明。

諸所の事情により退会することとした。

議案説明の後、審議に入り第6号議案 賛助会員B 藤田 怜氏 退会の件、全員一致で可決承認された。

第8号議案 賛助会員A 田中工業(株) 田中 慎一氏 建築部会入部の件 資料-7

中川専務理事より第8号議案について説明。

田中 慎一氏より入部届が届いている。同氏は11月の理事会で賛助会員Aに入会された法人でもある。

議案説明の後、審議に入り第8号議案 賛助会員A 田中工業(株) 田中 慎一氏 建築部会入部の件、全員一致で可決承認された。

第9号議案 賛助会員A (株)三和製作 古澤 大賀氏 機構部会退部の件 資料-8

中川専務理事より第9号議案について説明。

社内の担当役割が変わったため、古澤 大賀氏より退部届が届いている。

議案説明の後、審議に入り第9号議案 賛助会員A (株)三和製作 古澤 大賀氏 機構部会退部の件、全員一致で可決承認された。

第 10 号議案 常勤役員の報酬年額の決定について（総会承認事項） 資料なし
荻野副会長より第 10 号議案について説明。

本協会の定款第 31 条（報酬）の規程により、役員は無報酬とする。ただし、常勤の役員については、社員総会の決議により報酬を支給することができる。社員総会の決議により定められた「役員の報酬及び費用に関する規程」の中で常勤役員には、職務執行の対価として報酬を支給することができるかとされているが、現状、支払われていない状況である。

この規程により報酬支給対象となるのは中川専務理事であるが、現在事務局長を兼務で年額 300 万円（月額 25 万円）の給与で勤務いただいている。専務理事の報酬は佐藤壽晃専務理事が年額 240 万円（月額 20 万円）の役員報酬を得ていた過去実績がある。今回、来年度の予算を検討する中で、会長、副会長、総務担当理事の間で協議した結果、中川専務理事の報酬として年額 120 万円（月額 10 万円）を予算計上した。

規程では、常勤役員の報酬年額は理事会決議を経て、社員総会の承認を得ることになっているので、本日の理事会で審議に諮り、承認が得られたら令和 2 年 5 月 27 日開催の社員総会に諮ることとしたい。

議案説明の後、審議に入り第 10 号議案 常勤役員の報酬年額の決定について、全員一致で可決承認された。

第 11 号議案 中川専務理事への令和元年度特別報酬について 資料なし
荻野副会長より第 11 号議案について説明。

現在、中川専務理事は、一昨年の通常総会で実施した選挙で役員に就任した後、常勤の専務理事として職務にあたっているが、常勤の役員報酬を支給されていない状況である。

昨年 8 月に、内閣府より一昨年度（平成 30 年度）の事業報告提出後のチェック段階で、常駐役員の報酬がゼロであることを指摘されたが、この時は、常勤役員の報酬について理事会及び社員総会での議案提出、決議を行っていなかったことを説明し、書類を訂正して再提出した。その際、内閣府の担当から定款、規程で定められた役員報酬については、金額の大小ではなく規程通り取り扱うことが望ましいと指摘を受けた。このため今年度の 1 年分については、若干でも特別報酬を支払う方向で考えている。

現在、事務局にて今年度の決算について見込み金額を出しており、会長、副会長、総務担当の青野理事と協議を行い、報酬額として 60 万円（月額 5 万円）を提案する。

本理事会において審議に諮り承認をいただけたら、今年度末の 3 月末日を目処に支給したいと考えている。

議案説明の後、審議に入り第 11 号議案 中川専務理事への令和元年度特別報酬について、全員一致で可決承認された。

第 12 号議案 セミナー「舞台技術者のためのコミュニケーション機器」の共催依頼について 資料-9

中川専務理事より第 12 号議案について説明。

（一社）日本音響家協会より、セミナー「舞台技術者のためのコミュニケーション機器」の共催依頼が届いている。

先月 2 月 5 日～6 日、幕張メッセで開催したライブ・エンターテイメント EXPO で実施した実演を踏まえ、より詳細な内容のセミナーを 2020 年 3 月 25 日に銀座ルノアール・貸し会議室プラザ八重洲北口で、舞台技術者向けに実演する内容である。

議案説明の後、審議に入り第 12 号議案 セミナー「舞台技術者のためのコミュニケーション

ション機器」の共催依頼について、全員一致で可決承認された。

第 13 号議案 賛助会員 A ヒビノ(株) 退会の件

資料-10

中川専務理事より第 13 号議案について説明。

先日お送りした議案にはないが、賛助会員 A のヒビノ株式会社から連絡があり、賛助会員 A を退会したいとの申し出があった。

現在、ヒビノグループとして、正会員 A にヒビノアークス株式会社、賛助会員にその親会社であるヒビノ株式会社が入会しているが、今後は正会員 A のヒビノアークス株式会社に 1 本化したいとのこと、3 月 31 日付で退会届が提出された。

鈴木理事より、これから輸入機器を取り扱う会社に対して新規入会の働きかけをする状況であるのと、ヒビノアークスとヒビノでは取り扱う商品、業界における立場も違うので、今一度退会を見送るよう説得した方がよいと考える。

中川専務理事より、事務局からはヒビノ株式会社については、賛助会員 A から正会員 B になって貰うため働きかけようとしていた所なので、先方にはその旨伝えたが退会ということで届け出があった。ヒビノ株式会社は JATET にとって存在意義の大きな会社なので、今後引き続き会員種別の変更として本会に残って頂けるよう先方と会話する。

森会長より、審議事項としては退会ということですが、会員種別の変更をお願いすることとも踏まえ決議することとする。

議案説明の後、審議に入り第 13 号議案 賛助会員 A ヒビノ(株) 退会の件、全員一致で可決承認された。

第 14 号議案 賛助会員 A (株)三精エンジニアリング 退会の件

資料-11

中川専務理事より第 14 号議案について説明。

現在、株式会社三精エンジニアリングは当協会の賛助会員 A として登録されている。先日、正会員 A の三精工事サービス株式会社の忠岡様から連絡いただき、三精工事サービス株式会社と株式会社三精エンジニアリングが合併し、三精工事サービス株式会社が存続会社となったため、株式会社三精エンジニアリングの退会届を提出したいと申し出があった。

合併の日付が、本年 1 月 31 日付けとなるので、三精エンジニアリングの書類として、1 月 30 日の日付をもって退会届が届いている。会員資格が失効する日付は令和 2 年 3 月 31 日付となる。

長谷川理事より、記入日が令和元年 1 月 30 日となっているので、令和 2 年 1 月 30 日に修正した退会届を再提出して貰う必要ありと指摘があった。

森会長より、この場では令和 2 年 1 月 30 日として審議することとする。

中川専務理事より、後日記入日を修正した退会届を提出いただくよう株式会社三精エンジニアリングに依頼する。

審議に入り、第 14 号議案 賛助会員 A (株)三精エンジニアリング 退会の件、全員一致で可決承認された。

5. その他

1) 部会入退部の届出書式等について

西村理事 (資料なし)

議案で提出されている入退部の書式が旧書式となっている。この原因は、各種申込書式が JATET 会員に周知されていないのと、現行の書式の入手先が案内されていないからだと思われる。JATET のホームページ等に各種規定や届出書式を掲載し、常に最新の規定

が閲覧でき、届出書式をダウンロードできる環境を構築すべきと考える。
森会長より、その通りだと思うので、事務局から旧書式で届け出を出している会員に対して今後、新書式で提出するよう依頼をお願いします。

2) 第 50 回定例理事会開催日程 について

第 50 回定例理事会は、令和 2 年 4 月 24 日（金）14 時から開催予定とする。



3) 閉会

15 時 55 分 森会長が閉会を宣言して終了した。

令和2年2月27日

上記議事録を明確にするため、議長、監事及び議事録作成署名人は次に署名捺印する。

公益社団法人 劇場演出空間技術協会
第49回定例理事会

役職	署名	捺印
議長（代表理事 森健輔）	森 健輔	
監事（尾澤輝行）	欠席	印
監事（間瀬勝一）	欠席	印
議事録作成署名人（西村岩夫）	西村 岩夫	

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 監事（理事会への出席義務等）第一百一条第1項において、監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは意見を述べなければならないとあるが、今回の理事会において監事全員が欠席となったため、監事の欠席理由を明確に示すこととする。

欠席理由（尾澤監事）： COVID-19による社会情勢を鑑み、公演収入の
理事会・評議員会や書面決議やネット配信等の支援
のため、欠席させて頂いたこととしました。

欠席理由（間瀬監事）：

新型コロナウイルス対応のため、勤務先施設「多摩市復興文化施設
「アクトシティ多摩」臨時肉館対応の現場責任者として
離任業務が出来なくなったため。